

STAGE+を楽しむ(142)(HP 収録)
—ムターのモーツァルトのヴァイオリン協奏曲全集—

1. 始めに

前報(141)に引き続き、STAGE+のムターとカメラータ・ザルツブルクによるモーツァルトヴァイオリン協奏曲全集の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ムターとカメラータ・ザルツブルクによるモーツァルトヴァイオリン協奏曲全集の演奏を選びました。

ムターとカメラータ・ザルツブルクによるモーツァルトヴァイオリン協奏曲全集
ザルツブルク大学 大講堂

収録日: 2005年12月6日

2006年のモーツァルト生誕250年に向けて、女王ムターが行った「モーツァルト・プロジェクト」から映像作品をお届けします。ここで彼女はモーツァルトを生んだ町が誇る室内オーケストラ、カメラータ・ザルツブルクを弾き振りして、(すべてがご当地で書かれた)機知に富んだメロディアスな傑作ヴァイオリン協奏曲5作品を演奏します。生き生きと躍動する開放的な表現で、あたかも自分の分身のように紡ぎ出すモーツァルトの濃密な世界をお楽しみください。

ソリスト:

アンネ=ゾフィー・ムター (ヴァイオリン)

演奏:

カメラータ・ザルツブルク室内管弦楽団

曲目:

ヴァイオリン協奏曲第1番変ロ長調 K. 207

ヴァイオリン協奏曲第2番ニ長調 K. 211

ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調 K. 216

ヴァイオリン協奏曲第4番ニ長調 K. 218

ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調 K. 219 《トルコ風》



なお、本プログラムの DVD 版があったので比較試聴します。

UNITEL U/CBG-1176/7

モーツァルト ヴァイオリン協奏曲全集

3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencer とルーター に対するCDクリーナーの処理を行っています。今回、ルーターのLANポートにフェルトダンプ端子を装着しています。

2005年の収録で、ムターの弾き振りです。

いずれの曲もムターの艶のあるヴァイオリンの音色が冴えていますし、カメラータ・ザルツブルク室内管弦楽団のアンサンブルもモーツァルトらしい優雅なアンサンブルを聴かせてくれます。

一方、DVDの方は、DMR-UBZ1から再生していますが、音質もSTAGE+に比べると緻密さが欠け、TVで見る画質もぼやけ気味です。

4. まとめ

LANアキュライザーとCrstal EpLその他フェルトダンプLAN端子などの効果により、ムターの艶のあるヴァイオリンの音色とカメラータ・ザルツブルク室内管弦

楽団の優雅なアンサンブルを聴かせてくれ、音質も画質も相当する DVD より優っています。

以上